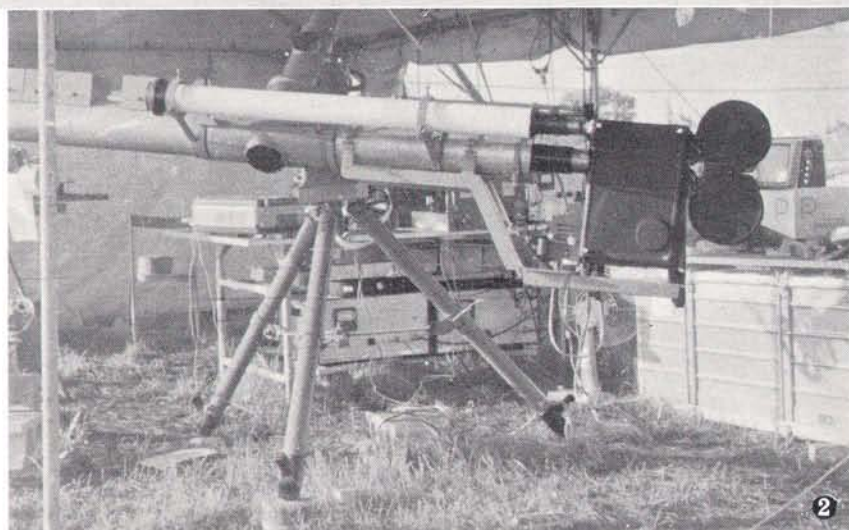


# 月報アルバム



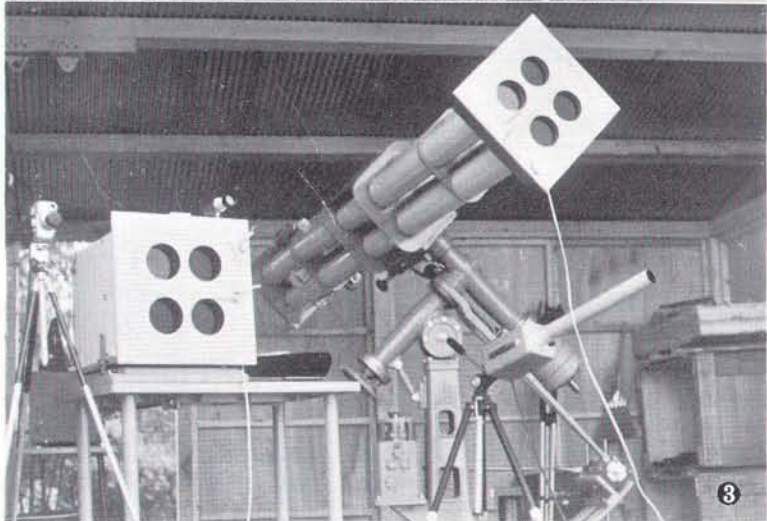
## 日食観測アルバム (水沢)

さる7月21日の皆既日食に水沢班では、口径15cm、焦点距離225cmのレンズにトロヤ式カメラを取付け、毎秒51cmの速度でフィルムを動かした。また別に口径17cm 焦点距離120cmのツァイス・トリップレットレンズにニコンFモータードライブを取付け、60分の1秒の露出で毎秒3駒写した。

1は後者のフィルムの一部で上左から右へ、 $14^{\text{h}}13^{\text{m}}45^{\text{s}}$ 、 $50^{\text{s}}$ 、 $54^{\text{s}}$ 、 $59^{\text{s}}$ 、 $14^{\text{m}}1^{\text{s}}$  下を左から右へ  $14^{\text{m}}30^{\text{s}}$ 、 $32^{\text{s}}$ 、 $36^{\text{s}}$ 、 $39^{\text{s}}$ 、 $47^{\text{s}}$ の各秒にとったものである。2はトロヤ式カメラで、3はトロヤカメラを見学する気象台職員と説明する古川氏(中央)

(東京天文台分光部班)

1 は水沢班の観測場所付近より同班が写した網走市台町の東京天文台分光部班の観測小屋(写真中央の小さな黒い四角) 右に網走市と海岸が見える。2 は近よって見た観測小屋、3 はその内部で2組の四連カメラが見えており、右は長焦点カメラ、左は短焦点カメラである。





## 水路部班と梅前山

1 は水沢班が撮影した水路部班の準備状況で、左が水路部班のテント、右は水沢班のテントで、人物は右が水路部の山崎氏、左が森氏。

2 は梅前山 8 合目に設営した東京天文台測光部班のテントである。

3 水路部測測班の準備風景。

